

水 産 生 物 分 布 調 査

佐藤 直三・澤田 兼造・小田切譲二

調 査 目 的

本県日本海沿岸域における底棲魚類の時期的分布を把握し，沿岸資源の維持と漁業経営の安定を図る。

調 査 方 法

1. 調査期間 昭和57年 4 ～ 5 月， 9 ～ 10 月
2. 調査海域 青森県日本海沿岸
3. 調 査 船 試験船青鵬丸（19.94 トンD, 170 馬力）
4. 調査項目 資源分布状況 1 艘びき機船底曳網漁法

調 査 結 果

例年，この調査はほぼ周年に亘って実施してきたが，試験船青鵬丸は，昭和44年建造の木造船で，11月以降の廃船が決定したので，本年は10月までの調査である。

調査期間中の出漁日数は延21日，曳網回数は延110回（うち曳網不能回数9回）であった。

（図1）

1. 漁獲魚種及び漁獲量

調査期間中漁獲された魚種は，ホッケ他31種であった。（表）

55，56年度と今年度の同時期の漁獲量を比較してみると，55年度 10,477.8 kg（有効曳網回数58回）で，1 曳網当たり平均漁獲量は 180.7 kg，56年度 8,579.5 kg（＃＃ 120回）で，同じく 71.5 kg，今年度 5,976.7 kg（＃＃ 101回）で，同じく 59.2 kgとなっており，年々漁獲が少なくなっているように見える。

これは，この時期の多獲魚であるホッケの漁獲量に影響を受けているためであり，このホッケを除いたものでみれば，各年 27.4 kg，33.9 kg，16.9 kgとなり，漁場の違いを考慮にいれると，あまり変動は認められない。

なお各年の漁獲量（率）上位3種の漁獲種は，55年ホッケ（84.9％）・タコ（3.2％）・アンコウ（2.6％），56年ホッケ（52.5％）・タコ（14.7％）・ヒレグロ（10.5％），57年ホッケ（71.5％）・ヒレグロ（6.8％）・スケトウダラ（6.5％）の順序で，各年ともホッケが多かった。

2. 魚種別・海区別漁獲量

本年度漁獲の多かった7魚種についての海区別漁獲量(1曳網当り)をみると、

a ホ ッ ケ (図2)

55, 56年度と同様、主に高山～出来島沖の水深200 m附近に分布していたが、本年は高山沖水深100 m附近にも多く分布していた。

b スケトウダラ (図3)

55, 56年度と同様、主に高山～鰺ヶ沢沖の水深200 m以深に分布していた。

c ア ソ コ ウ (図4)

高山～出来島沖の水深100～200 m間に分布していたが、例年同様まとまった分布域は認められなかった。

d ニ ギ ス (図5)

アソコウと同様の海域に分布しており、まとまった分布域は認められなかった。

e タ コ (図6)

高山～鰺ヶ沢沖の広い海域に薄く分布しており、例年同様の傾向であった。

f ヤ リ イ カ (図7)

高山～出来島沖の水深100 m附近に薄く分布していた。

g ヒ レ グ ロ (図8)

高山～出来島沖の水深200 m以深に分布していたが、まとまった分布域は認められなかった。

なお、有用魚種であるカレイ類の漁獲量は、ヒレグロ他8種の759.4 kgで、全漁獲量の12.7%を占めていた。

3. 体重と全長等の関係式

a ヤ リ イ カ

$$\text{体重}(g) = 0.2199 (\text{外套背長}^{cm})^{1.9875}$$

$$\text{相関係数 } r = 0.935$$

但し測定尾数 50尾

外套背長 61～90 mm

体 重 8.5～18.1 g

b スケトウダラ

$$\text{体重}(g) = 0.07261 (\text{全長}^{cm})^{2.3054}$$

$$\text{相関係数 } r = 0.897$$

但し測定尾数 50尾

全 長 308～509 mm

体 重 191～670 g

c ニギス

体重 (g) = 0.02639 (尾叉長^{cm})^{2.4753}

相関係数 $r = 0.777$

但し測定尾数 50尾

尾叉長 12.5 ~ 15.5 cm

体 重 12.0 ~ 22.0 g

考 察

試験船青鵬丸は竣工以来13年が経過し、老朽化が甚だしく、かつ11月以降の廃船が決定したので、本年度の調査は相当制約された。

近年本県日本海沿岸における底棲生物資源は減少傾向がみられ、資源の維持について当業船間でも自主的に出漁調整等を行うようになってきた。

試験船代船（56トン）による本種の調査を実施するに当り、従来行なってきた資源の分布、量の把握を主とすることなく、生態等に主力を向けるべきと思われる。

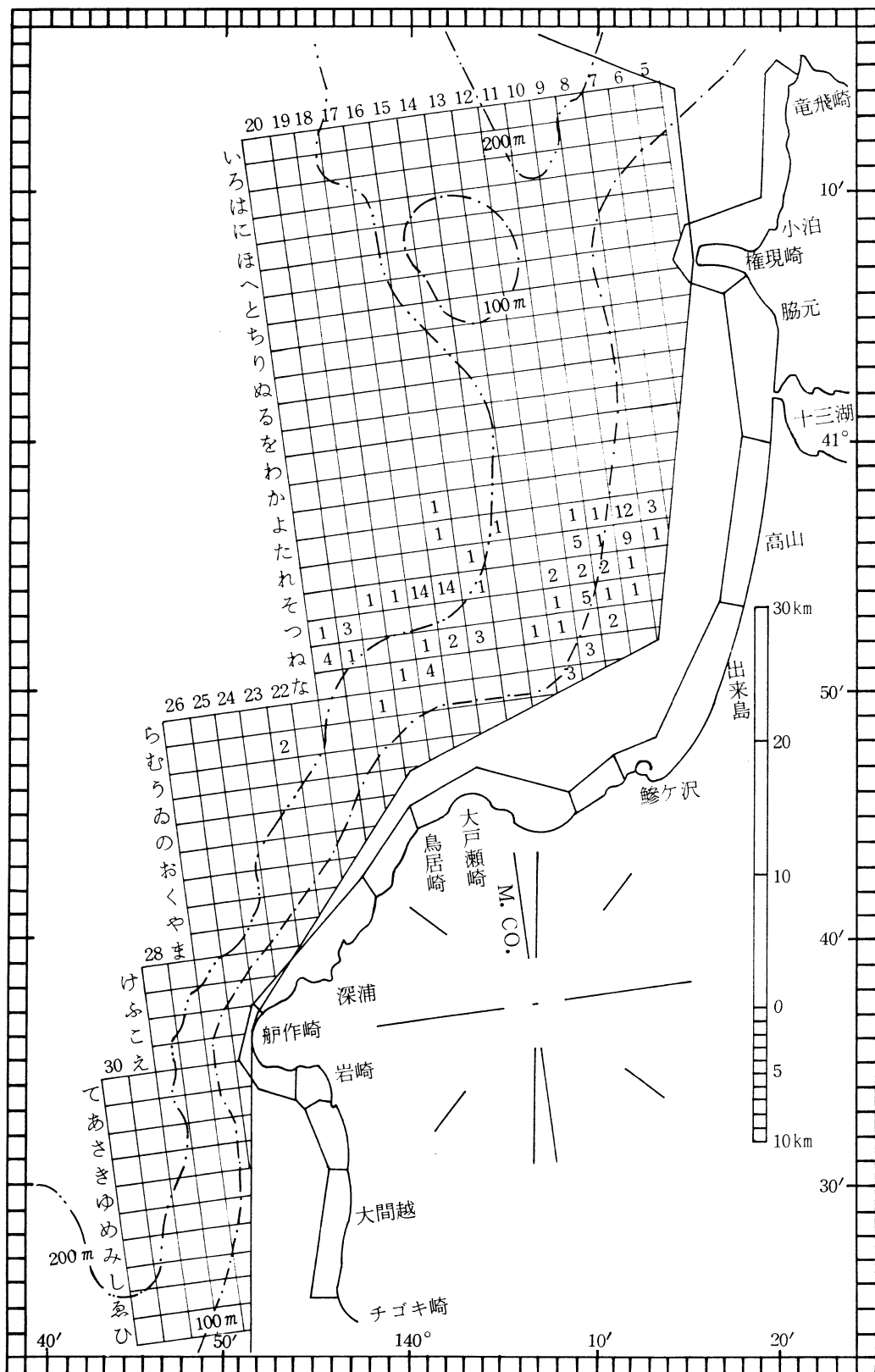


図1 調査海域及び曳網回数

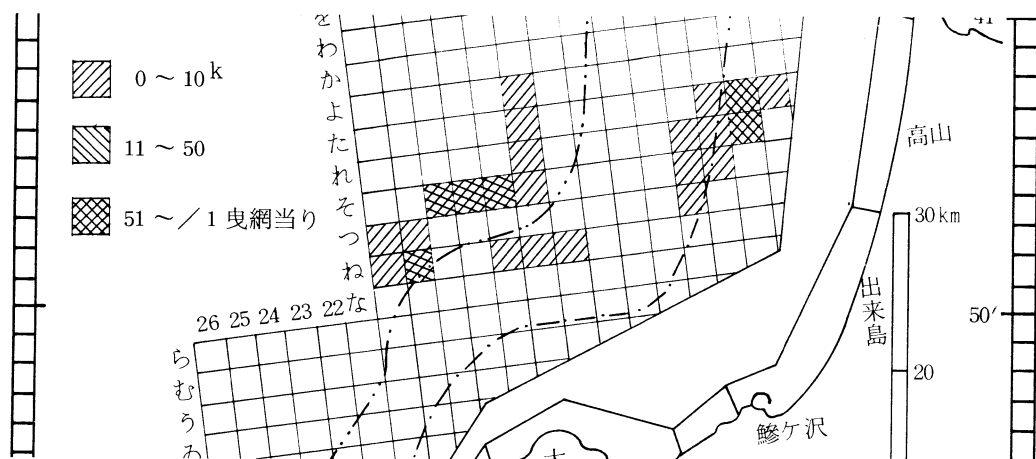


図2 ホ ッ ケ

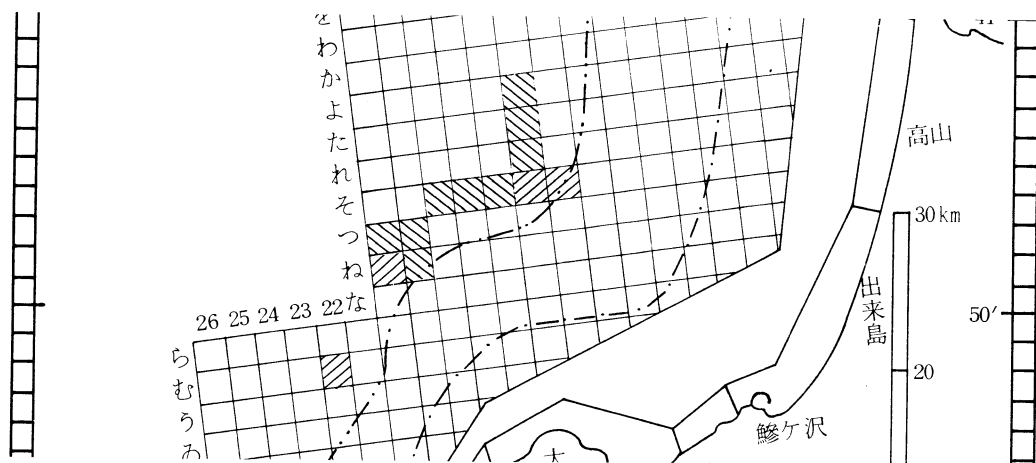


図3 スケトウダラ

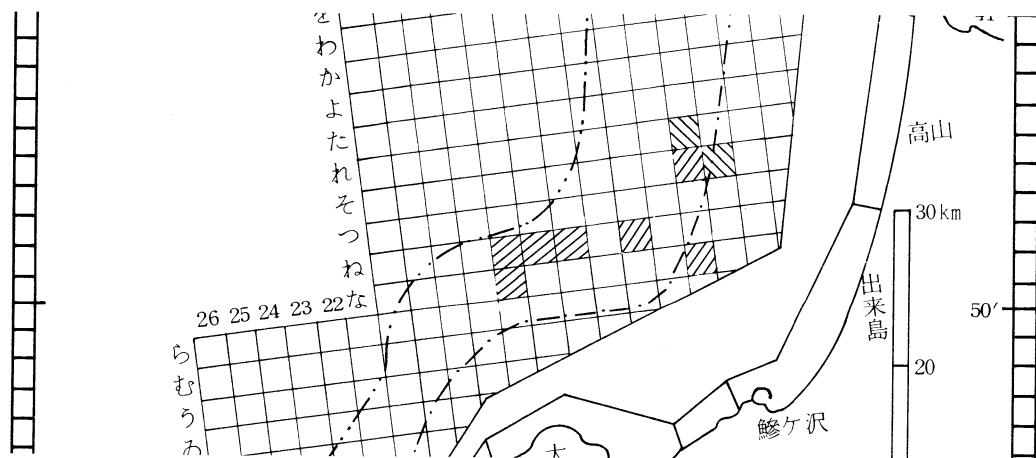


図4 ア ン コ ウ

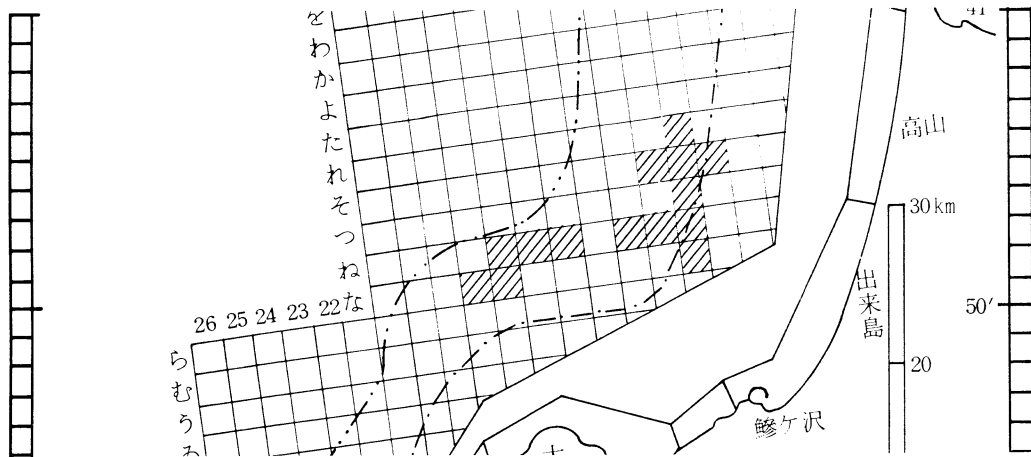


図5 ニギス

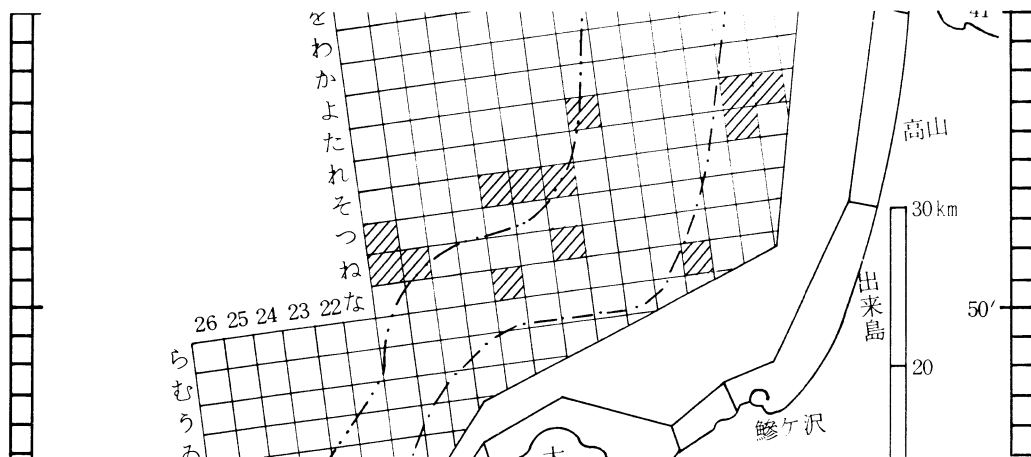


図6 タコ

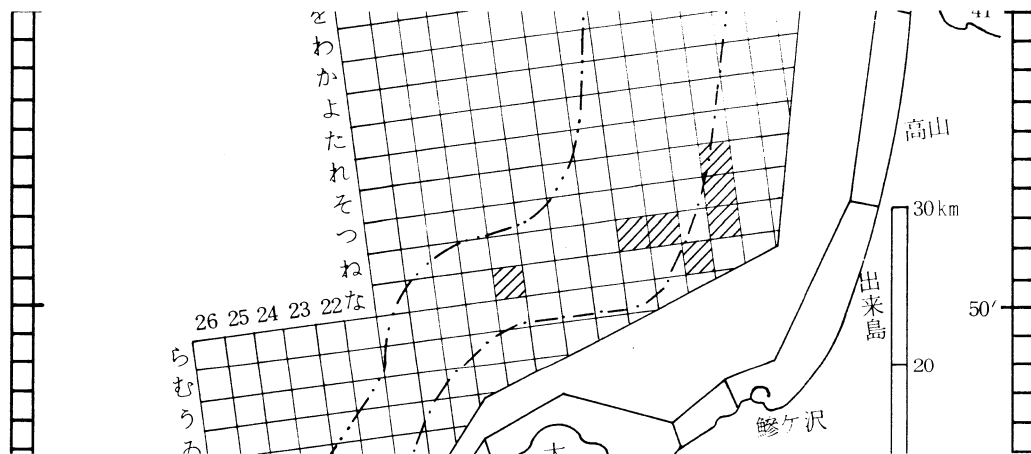


図7 ヤリイカ

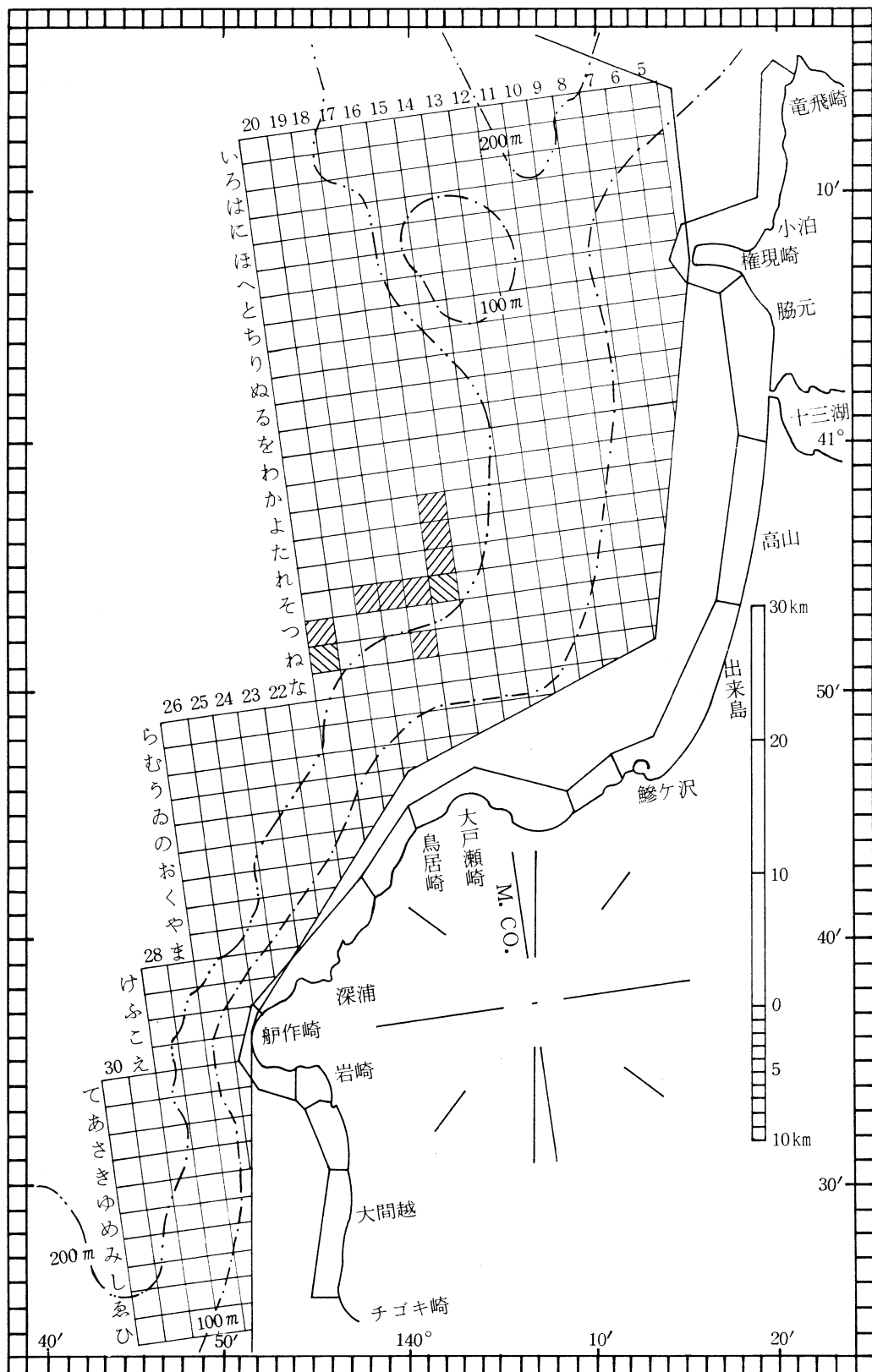


図8 ヒレグロ

表 57 年 度 魚

操 業 月 日	4／7	4／8	4／12	4／13	4／14	4／20	4／23	4／26	4／30	5／6	9／7
曳網回数(回)	6	7	6(1)	7	7	5(2)	7	4	7	5(2)	5
ホ シ ザ メ											
ガ ン ギ エ イ		1		0.5							
ア カ ム ツ	5										
マ ダ イ											
ニ ギ ス	7		4				6			1	10
ハ タ ハ タ											
カ ナ ガ シ ラ		0.5		1	2		2.4		0.7		
カ ジ カ											
ア イ ナ メ					3.5	2			1.5	1	
ホ ッ ケ	10	50	17	31	685	8	57	2	240	20	1,200
マ ダ ラ								1			2
スケトウダラ	26	29	8	3				3			3
ヒ ラ メ	1	4	1	2	2						
ア カ ガ レ イ	55	16	4	3				11			
ウロコメガレイ							4				
アブラガレイ			0.5								
ム シ ガ レ イ	0.3				0.3	0.5					
マ ガ レ イ											
マ コ ガ レ イ		2			8.5	3			1.8		
ヤナギムシガレイ	0.5	0.2	1	1.5	1		0.5				1.3
ヒ レ グ ロ	120	19	8	4			14	16			7
ババガレイ	1			1					2		
ウマヅラハギ											
ア ン コ ウ	3	2	0.5	35			38				10
ヤ リ イ カ											2
タ コ	2	2			5.4	3	5.2	3	4		13
ホッコクアカエビ											
ア ラ		0.8		1.2							
そ の 他	10	10		12							
計	240.8	136.5	44	95.2	707.7	16.5	127.1	36	25.0	22	1,248.3
%											
kg / 1 曳網	40.1	19.5	8.8	13.6	101.1	5.5	18.2	9.0	35.7	7.3	249.7

※ その他……ナマコ、タチウオ、アジ、コウイカ () 内は失敗網数

種別漁獲量

(kg)

9/16	9/17	9/24	9/30	10/1	10/7	10/8	10/18	10/22	10/29	計 kg	比率
5	5	4	4	4	4(1)	6(1)	4	3	5(2)	110(9)	
							2			2	0.0
							2	7		10.5	0.2
										5	0.1
			1.5				2			3.5	0.1
24	1	2							100	155	2.6
					0.6			0.2	0.3	1.1	0.0
	0.3		0.5			2.5	3			12.9	0.2
				5				1.5		6.5	0.1
							1			9	0.2
50	720	630		12	530			7	3	4,272	71.5
3	5							2.5		13.5	0.2
22	102	20		60	50			30	33	389	6.5
										10	0.2
1.3				9	2			4		105.3	1.8
								110	50	164	2.7
										0.5	0.0
				50						51.1	0.9
1.2										1.2	0.0
	1					2	1.5			19.8	0.3
0.5										6.5	0.1
7	15	5		59	3			130		407	6.8
										4	0.1
	6		6							12	0.2
2		20								110.5	1.8
2	4	3	15			55	1			82	1.4
1		10		10	3				18	79.6	1.3
	4			0.5						4.5	0.1
										2	0.0
	1					2	1.7			36.7	0.6
114	859.3	690	23	205.5	588.6	61.5	14.2	292.2	204.3	5,976.7	100.0
22.8	171.9	172.5	5.8	51.4	196.2	12.3	3.6	97.4	68.1	59.2	